

令和5年度 多面的機能支払交付金に係る活動組織研修会資料
地域とともに生きる農業・農村
多様性社会の構築により生き残り作戦を考える!



こじはん(おやつ)は
おにぎり

那須野ヶ原の概要幾つか・・・

日本三大疏水のひとつ、那須疏水の取入口

～2017年、世界かんがい施設遺産に登録～



国重要文化財に
指定(06.4.21)

旧施設は
文化財指定



蛇尾川サイフォン



那須疏水旧取水口



2,000万トンの
深山ダム造成

5つの取水口の
整備

100万トンの
調整池2つ造成

330kmの用水路
整備 など

☆☆平常時一滴の水も流れない伏流河川☆☆

～水の確保には、困難を極める～

受益者参加型による維持管理状況

点検整備は受益者総出で

管理講習会: 塗装、ガス交換、清掃、点検...

しかし、高齢化の進行に伴い、このシステムの維持が困難



高林放水路地点の
清掃・点検など



空気弁の清掃点検



マンホールの清掃点検



浚渫作業



スクリーンの塗装作業

材料:ペンキ、
ガス、工具などは、
連合提供

負担軽減策に寄与

1000年の森づくり
:木質バイオ発電所構想

那須野ヶ原発電所
太陽光発電所 (燃料電池)

百村第一・第二
発電所 (4基)

新青木発電所

葛沼第一・第二
発電所

折戸発電所

NEF調査
箇所

那須野ヶ原用水
ウォーターパーク

赤田太陽光発電所

バイオガス
プラント:栃木県

バイオガス発電の可能性
調査:液肥実施試験

・小水力発電所:9基+4基
最大出力1,543kW+20kW/パーク
・太陽光発電所:1ヶ所+1基
最大出力400kW+20kW/燃料電池1kW

当初、県下の取り組みは消極的であった…… 何とかしなければと、知事・関係市に働きかける!

那須 栃木県知事

福田 富一 様

農地・水・環

要 望 書

農地・水・環境保全
向上対策事業の採択要望書

平成19年1月提出

隣市の市議会議員さんと連携し、2市の実施地区の拡大に奔走した

集落単位の説明会を重ね、希望地区を取り纏めた……



茫々たる荒野が先人の英知によって緑豊かな大地に創生された那須野ヶ原

大地に基づく様々な資源を図り、地域活性化につな

1・水・環境保全向上対策事業の予算を確保し、全国年度以降の新規採択地区もありません。

原市で3,980haを平成区2,398ha並びに大田地域であることから、ととしております。12,000haを越える

豊かな大地に創生全管理に努めつつ、ため、農振農用地面積の拡大を行う切に要望い

連合

治

共同活動支援活動組織

初年度、栃木県：20,455ha 管内二市：7,321ha

受益面積4,329ha中、3,255ha実施

～基本的には、各保全隊の自主的な活動に委ねる～

内、事務委託地区

- ・一区町地域資源保全隊：219ha
- ・二区町地域資源保全隊：203ha
- ・三区町環境保全隊：162ha
- ・四区町環境保全会：154ha
- ・太夫塚環境保全隊：60ha
- ・埼玉農地環境保全会：168ha
- 計 968ha

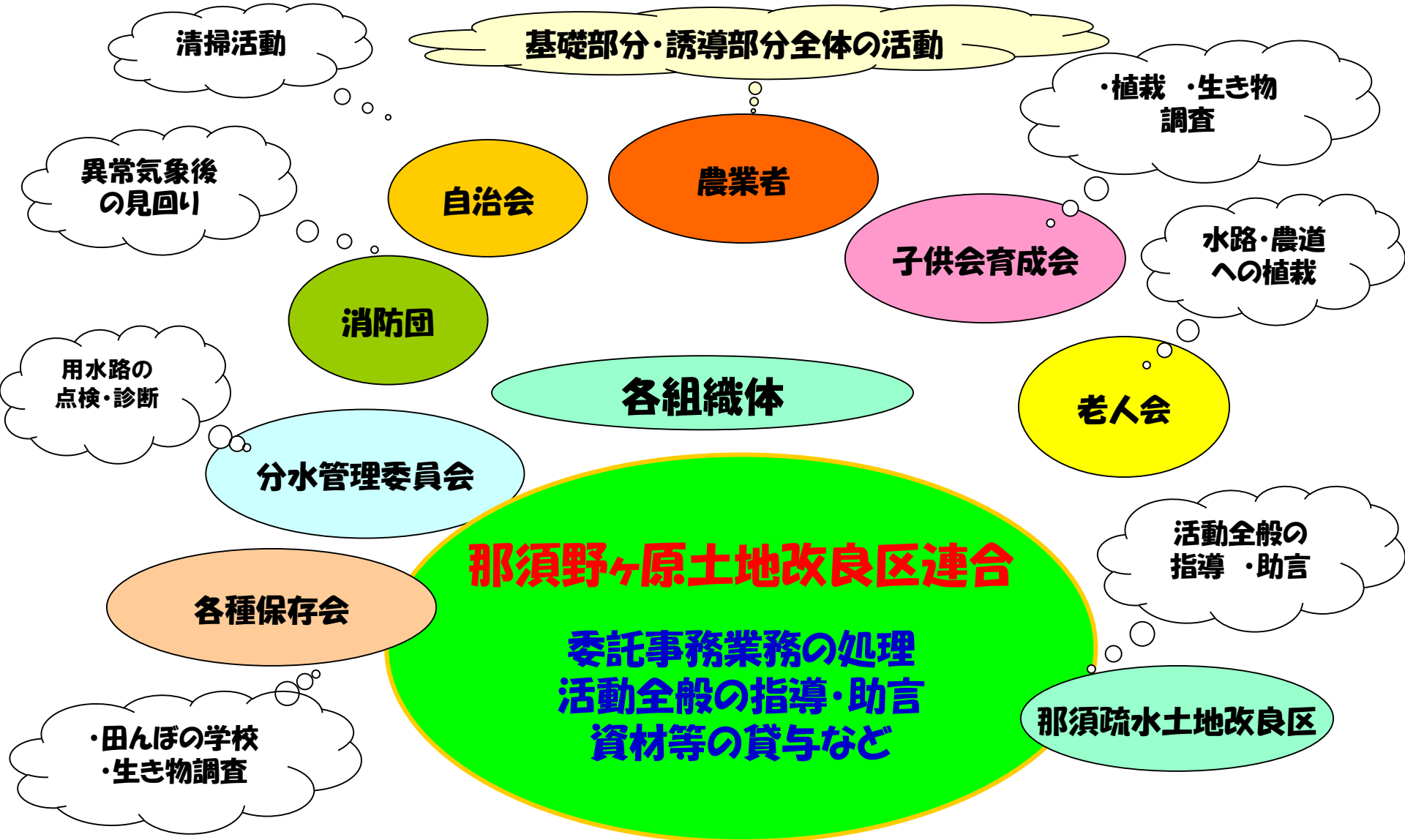
モデル事業地区

2012年度以降は、各組織に
事務をバトンタッチ！
ところが、活動組織の高齢化に
歯止めはかからず、
令和6年度以降の活動が
できない保全隊が出てきた…

☆女性役員の増加を
促すなど、根本的な
対策が求められる！☆

多様な組織との連携

《各団体の主な活動》





ホタル水路見学会

☆多様な組織との連携の例☆

①ホタルの里保存会の水路整備・清掃活動支援

②那須疏水などの土地改良施設見学会支援

深山ダム・西岩崎頭首工・ウォーターパークなど・・・

小さな発電所は、
発電の仕組みが良く解るね



③ 生き物調査 / 環境に優しい農業支援

栃木県
関係市

NPO

生産組合

水土里ネット
田んぼの学校

子供会
育成会

ドジョウ調査は日本初
ふゆみずたんぼプロジェクト指導

カエル調査隊
小学生が主役



④ 田んぼの学校活動支援 / 田植え、収穫祭、しめ縄飾り



⑤ イベント活動支援

電子芝居製作⇒東京白百合女子大との連携

水足に苦しんだ昔の
那須野ヶ原の
歴史を通し、
お米を育てるための

88の知恵のお話

お米の神様

コンセプト 奥絵里奈
絵・構成 舟崎克彦



水の旅

コンセプト 橋岡彩江 安田沙織
絵・構成 舟崎克彦



きれいな水の成り立ち
のお話

鮎のなかたろう

鮎的那珂太郎の
旅を通し、
人間の都合で川を
汚してはいけない
お話

齊藤桃子

・補筆 舟崎克彦





村人が助けたキツネの
恩返しのお話

きつね女房



文・滝澤 ゆい
絵・山内 志壽子



木のてまごころ
木々の

さくえ やまおかしに

木は森の命
私たち生き物は
その森に
活かされている
お話



多面的活動イベントにて上映の様子 ～地区内の小学生～

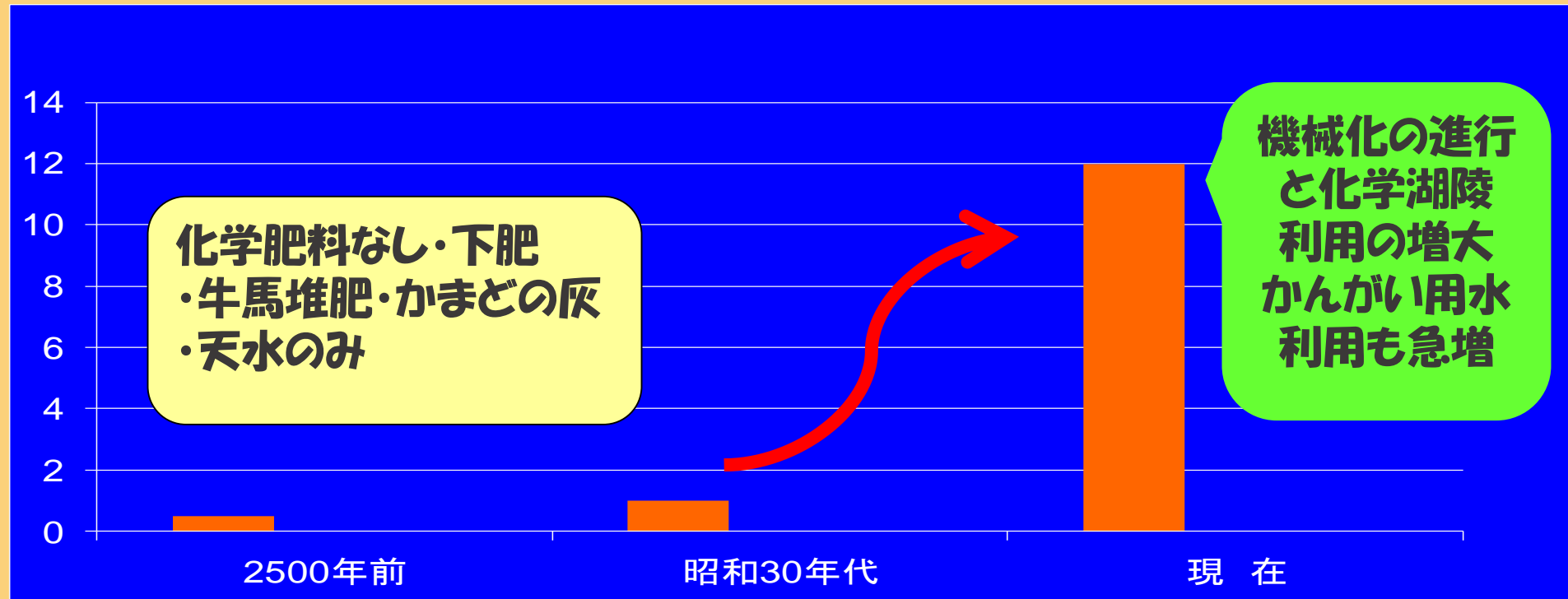


お米の神様
コンセプト 奥絵里奈
絵・構成 舟崎克彦



農業の今・昔

農家にも迫る餓死の恐怖？ 著書 / 餓死迫る日本より



化学肥料なし・下肥
・牛馬堆肥・かまどの灰
・天水のみ

機械化の進行
と化学湖陵
利用の増大
かんがい用水
利用も急増

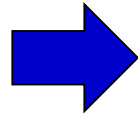
弥生時代(2500年前)に始まった
稲作、昭和30年代半ばまで
大きな変化なし。
→人力に牛馬が加わった程度

耕耘、肥料散布、
代掻き、除草、田植え、
稲刈り、脱穀、
もみすり、備蓄に至る
動力利用の農機具は
絶望的

a.強い農業、b.AI化では生き残れない

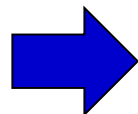
資本主義「男性脳」×農本主義「女性脳」がちょうどよい!

a.強い農業



例えば、農産物等輸出拡大施設整備事業を自給率38%の我が国で進めるの?
★我が国は、超高級品を生産するのは長けている?!

b.AI化



例えば、2011年、持続可能な発展のためドイツで提唱された『第4次産業革命』を、ドイツ、アメリカ、中国をはじめ、日本も取り組んでいる。
★共有性に乏しく、世界水準に達する状況にあらず!

一方、AIの暴走はあり得るとも……

AI「人類存続に脅威」……2024.1.3日、国連諮問機関

利点⇒人間の科学的知識の限界を広げる

制御不能となれば⇒リスク孕み、国際規範が必要と危惧される

c.集約農業、d.経済優先では生き残れない！

c.集約農業

高齢化が進行し、専業農家に沢山の農地が預けられている。

★しかし、「もう限界だ!」と、悲鳴を上げ始めている…

d.経済優先

限界集落や中山間地域での農地の荒廃が進んでいる。

★農業の営みを通して、小川のせせらぎも、
嵯峨野や富良野などの観光地が生まれ、
伝統文化が育まれている。

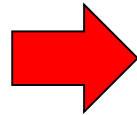
a.強い農業、b.AI化、c.集約農業、d.経済優先は、

男性脳から生まれたもの…

適切な農地の集約や連携が経営の質を高め
収益力上がり、食糧安保へ導く

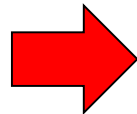
一億人の未来図★食料・農業・農村基本法見直し最終段階 会計検査院動く⇒45%自給率の目標値高めるも、工程表すらつくった こともなく自給率目標が未達成で要因などの検証もない」との指摘

三菱総合
研究所推計
データから

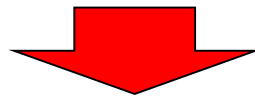


- ① 2050年、農家人口が8割減る!
★人口減18%に比べ、農家の減少は
急激に進行……
- ② ほうれん草は、2049年に生産ゼロ……
- ③ 大根は、2050年に半分に……
- ④ サクランボや日本梨はゼロ……

主食はイモ
に転換



必要カロリーを賄うためと政府方針
……およそ2000カロリー/日



★飽食の時代は終わりに近づいている。

「半農」増やし、みんなで農業 / 鈴木宣宏東大教授⇒**そうたやすくはない**

※中国は14億人/年備蓄を確保し、日本はわずか1.5カ月分…… 20

多面的機能の経済評価：那須野ヶ原の事例

農村には埋もれた“宝”がザックザク！！

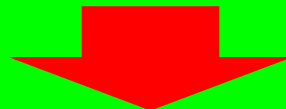
「多面的機能のごく一部を対象とした試算：日本学術会議試算方法に基づく」
農業工学研究所調べ⇒負荷を除いても1.5倍の試算結果

6,944円/年/10a + 1.3℃抑制効果

1.5倍なら、**10,416円 + 1.3℃抑制効果**

※水田の気温抑制機能は含まれず！

⇒沸騰期に突入した今、大きな効果を予測



これは、本来国民が負担すべき対価・・・
男性脳と**女性脳**の個性を生かし
作る側と食べる側のマッチングを図りつつ、

★声高らかに訴えよう！

女性組織を中心とした活動再開の取り組み

令和6年2月21日(水)

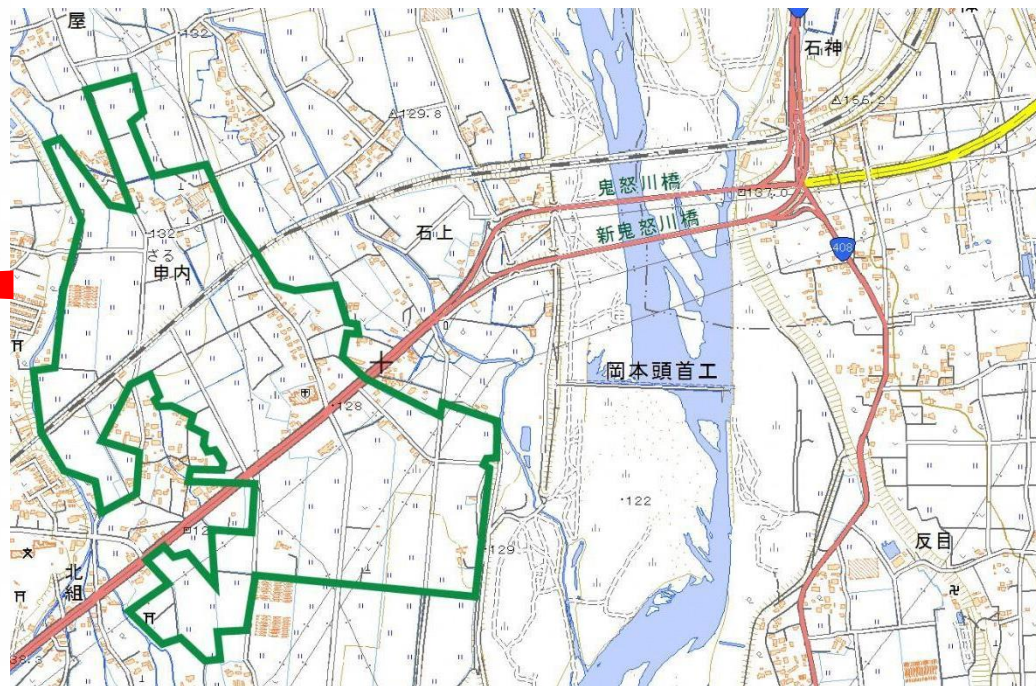


宇都宮市申内環境保全会
事務局長 相良 律子

1. 地域の概要

宇都宮市の東部に位置し、ほ場整備後の恵まれた条件、環境の中で営農を行っていますが、他産業への兼業化や非農業者の混住化も進んでいます。

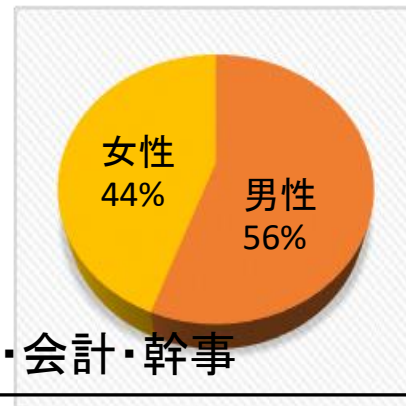
平成10年度に圃場整備が完了しましたが、近年農業用施設の老朽化や水路の土砂堆積が、目立ち始めています。前組織『申内みどりのさと保全会』活動の中でほぼ実施できていましたが、高低差のある排水路や、取り組み面積以外の水門が、私達地域にも関係することから面積拡大を図り、水門管理にも携わっています。



2. 活動組織の概要

【組織の概要】

- ・ 取組面積:73.8ha (田73.3ha、畑0.5ha)
- ・ 資源量:開水路 17.2km 農道 7.5km
- ・ 実施内容:農地維持支払、資源向上支払(共同活動)
- ・ 交付金額:約4百万円
- ・ 構成員:69名(農業者:30名、非農業者:39名)
- ・ 構成役員:9名(男性5名、**女性4名**)副会長・事務局長・会計・幹事



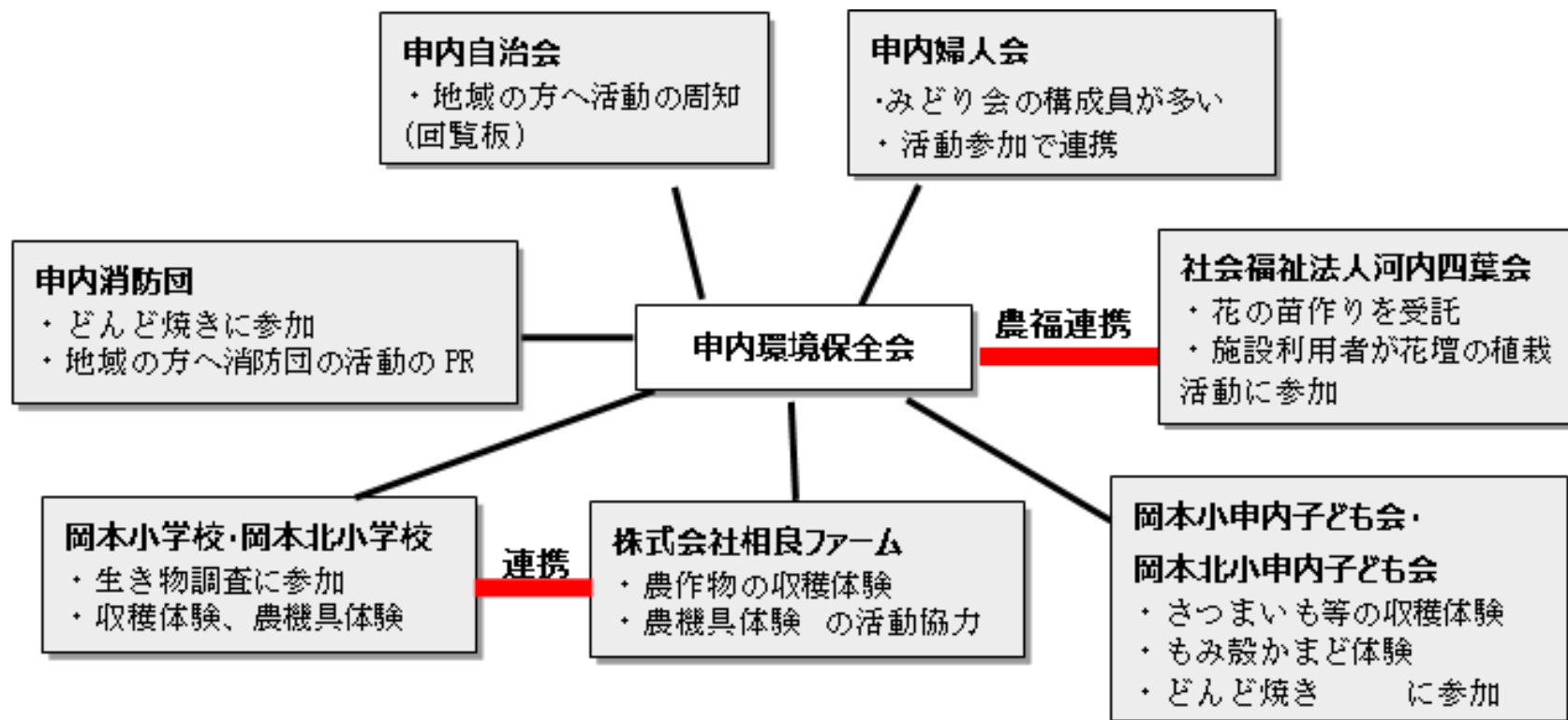
【組織立ち上げの経緯】

- ・ 当該地域は、平成20年度～24年度まで、古き良き農村の自然環境を守っていくことを目的に、『申内みどりの古里保存会』を立ち上げ、農業用施設の補修や植栽などの共同活動を実施していた。この時には女性の役員はおらず、女性組織の役員1名が役員会に出席していましたが、意見を述べる事ができない状況でした。
- ・ 農業用施設の補修が十分に実施できたこと、また、次に引き継ぐ役員の後継者がいなかったこともあり、**活動を一旦休止**した。
- ・ 農家、農村地域を守っていくには、やはり共同活動を再開する必要があるだろうという機運が女性組織を中心として高まり、平成27年度に『申内環境保全会』を設立し、**活動を再開**し、現在では**女性役員を中心に会を運営**している。
- ・ 又月一回の定例会を開催し活動の活性化を目指しています

2. 活動組織の概要

【主な活動】

- ・ 地域資源の適切な保全管理の為の活動
- ・ 地域の景観形成のための植栽活動(彼岸花ロード、花壇)
- ・ 小学校、子ども会との連携(生き物調査、校外授業、農業体験)
- ・ 社会福祉法人との農福連携
- ・ 地域住民との交流



3-1. 取組状況（農地維持支払）

○地域資源の基礎的な保全活動

非農家を含め地域全体で水路の泥上げや草刈り、水利施設の掃除・点検に取り組んでいる。草刈りについてはハンマーモアを活用し効率化を図っている。

組織の活動方針や地域資源の保全管理の方法等について住民を交えて話し合いを実施している。



草刈り風景



水門の清掃・点検



用水路の堀さらい



地域住民を交えた話し合い

3-2. 取組状況（資源向上支払（共同））農村環境保全活動

○農村環境保全活動①【生物の生息状況の把握】

小学生を対象に、田んぼまわりの生き物調査を実施し、生物の生息状況の把握を行っている。



生き物調査風景



○農村環境保全活動①【植栽等の景観形成活動】

散歩コースとなっている農道への花壇の設置、近隣の組織と連携して彼岸花ロードを保全する活動を実施している。



農道沿いの花壇



彼岸花ロード

3-2. 取組状況（資源向上支払（共同））啓発・普及活動

○啓発・普及活動【地域の小学校及び子ども会と連携した取組】

小学生を対象に、さつまいも、じゃがいも、アスパラガスの収穫体験や、玉ねぎの定植、もみ殻を使ってご飯を炊くかまど体験を実施するほか、トラクター等の農機具に試乗する体験を行うなど、農村文化に触れてもらう機会を提供している。



子供会と連携した農業体験風景



玉ねぎの定植



小学校と連携した収穫体験

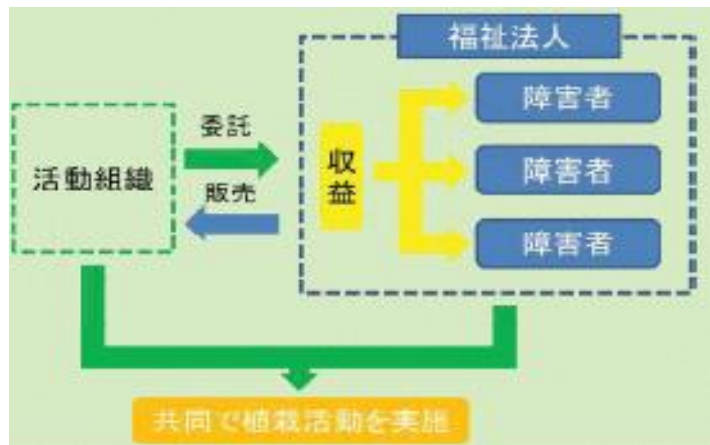


トラクター試乗体験

3-2. 取組状況（資源向上支払（共同））増進活動

○多面的機能にかかると増進活動②【農福連携の取り組み】

組織が社会福祉法人へ花の苗作りを委託し、法人と協力して、施設の利用者等と一緒に植栽活動を行っている。



農福連携の流れ



福祉法人と連携した植栽活動



福祉法人と連携した植栽活動参加者



花壇の様子

3-2. 取組状況（資源向上支払（共同））増進活動

○多面的機能にかかると増進活動②【農村文化の伝承】

平成30年から、30年ぶりにどんど焼きを復活させ、開催している。

子どもたちと一緒に繭玉を作り、五穀豊穡を願うお焚き上げを行うことで、農村文化に親しむ機会を創出し、農村と都市との交流に積極的に取り組んでいる。

申内自治会は435の世帯があり、新しい住宅の開発も進んでいるため、地域の関係性の強化や居場所づくりの一つとして重要な役割を果たしている。



子供達との繭玉づくり



どんど焼き

3-3. 取組状況（資源向上支払（長寿命化））

○長寿命化に係る水路の補修

施設の点検を実施、計画的に施設の更新・補修を地域住民の直営施工により実施している。



3-3. 取組状況（資源向上支払（長寿命化））

○長寿命化に係る排水路の泥上げ

高低差のある畦畔の為30cmほどたまった泥上げ。人力では大変なため構成員の重機を借り上げ実施。



4. 活動の成果と今後の目標

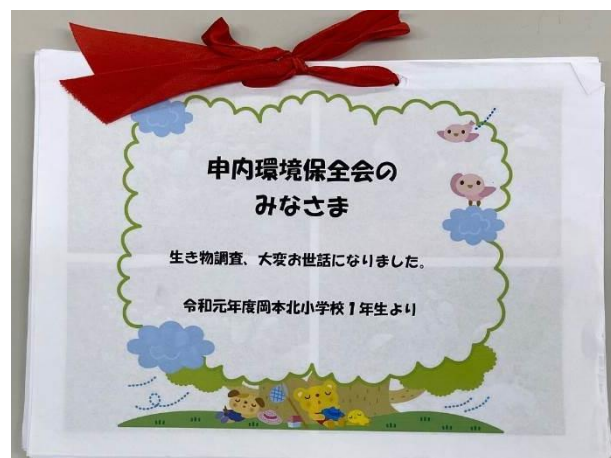
○活動の成果

- ・ 参加者の増加
⇒ 活動への参加が強制されないこと、女性役員が多く参加しやすい雰囲気であることから、共同活動への参加者が増加した。
- ・ 取組の増加
⇒ 女性役員の発案により、小学校や子ども会との交流が活性化されたほか、新たに農福連携の取組を始めるなど、地域コミュニティの強化等に貢献した。
子供会と活動を共にしたことで、都市住民の方が自治消防団に加入してくれた
- ・ 組織運営の円滑化
⇒ 法面の草刈りや水門のごみ浚いなどの農地維持管理等の作業は男性が農村の環境保全活動などは女性が中心となり、それぞれの得意分野を担当することで、お互いの良い面を引き出し良好な関係を築いている。
又、農地維持管理作業など終了時には年に数回、日当から会費を徴収し親睦会を開催している。女性陣の手料理がテーブルに花を添え楽しい時間を過ごすことで次への活動に繋がっている

4. 活動の成果と今後の目標

○今後の目標

- ・ 本交付金活動を継続することにより、地域の農業・農村の環境を維持したい。
- ・ 地域の子どもたちに色々な農村文化を体験する機会を提供することで、農業の大切さや地域の良さを理解してもらい、今の取組を次世代に引き継ぎたい。



4. 活動の成果と今後の目標

○今後の目標

多面的機能支払交付金は地域資源の適切な保全の推進だけでなく
文化を伝承する機能・癒しや安らぎをもたらす機能・体験学習と教育の機能も掲
げられています。
一部地域住民が保存している「天棚」を常設し地域交流の場と維持していきたい。



ご清聴ありがとうございました

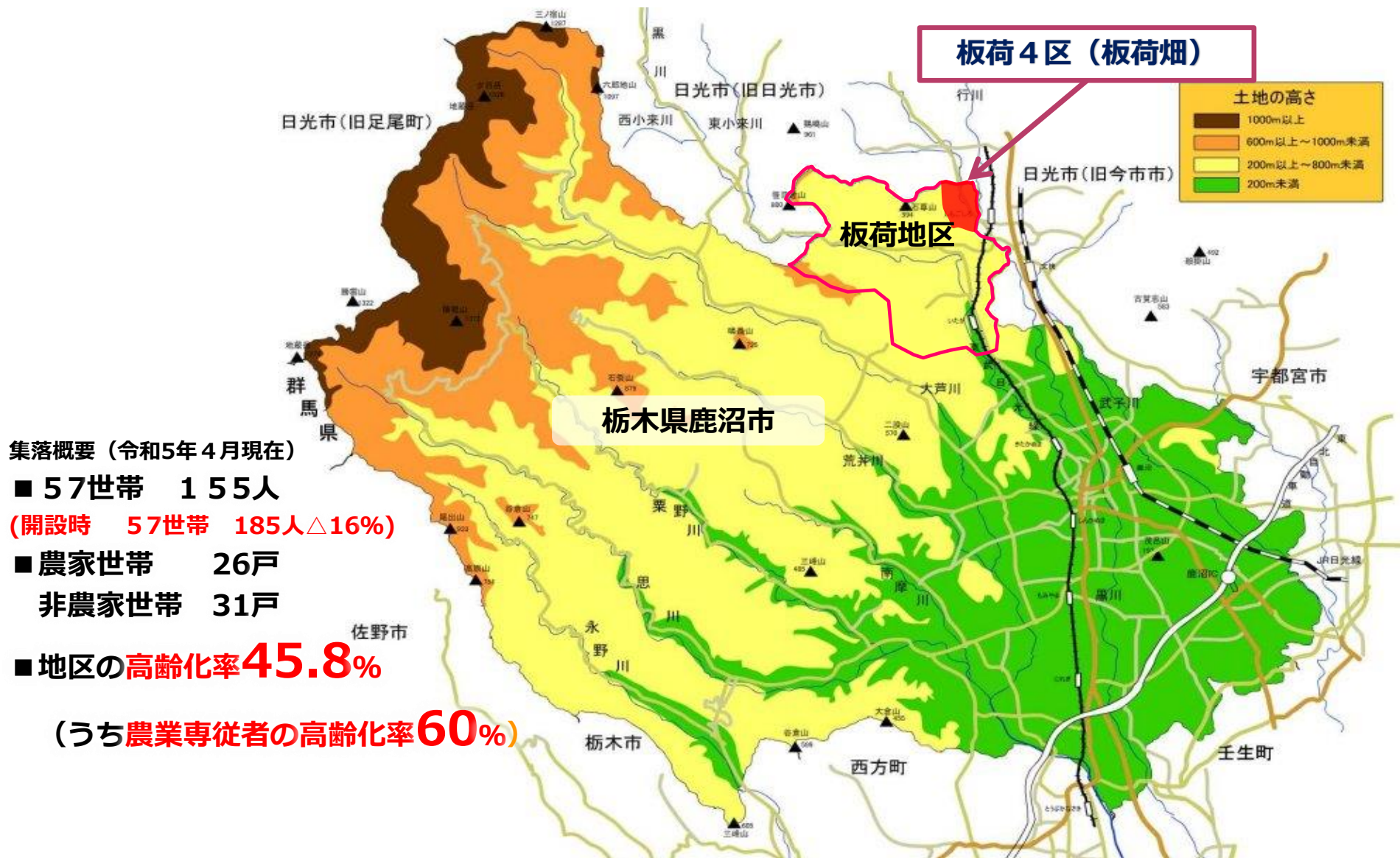


- ・令和2年度 多面的機能発揮促進事業 関東農政局長賞 最優秀賞を受賞しました。

住めば都とむら栄え!

～みんなで“支え”“つなげる”地域づくり～

板荷畑地区の概要



農用地、施設の概要

農用地面積

単位：ha

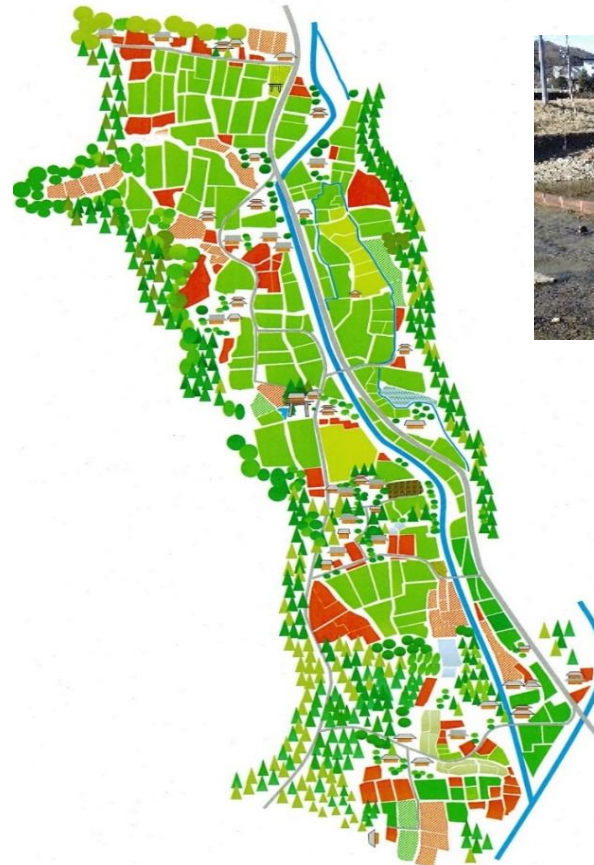
田	畑	計	放棄耕作地
23.9 (79%)	6.2 (21%)	30.1	0

農業用施設

単位：km

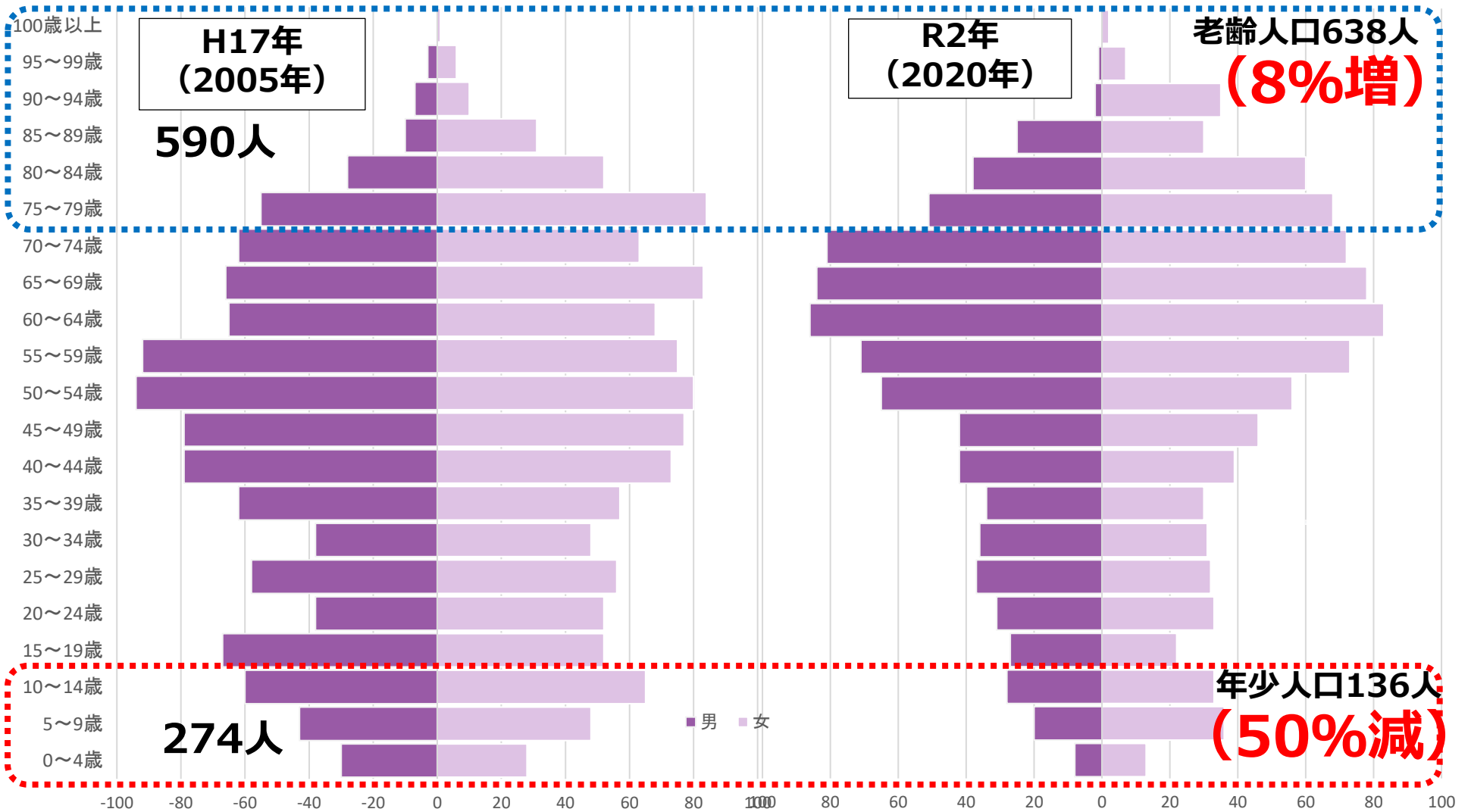
開水路	農道	関連施設 (獣害防護柵)
5.8	1.5	5.4

- ・ 平均耕地面積は1.1ha
- ・ 土地改良事業は未実施
- ・ 水利は長畑川、行川からの用水施設、取水ポンプ揚水、沢水が地域の水利
- ・ 土水路が多く残っている



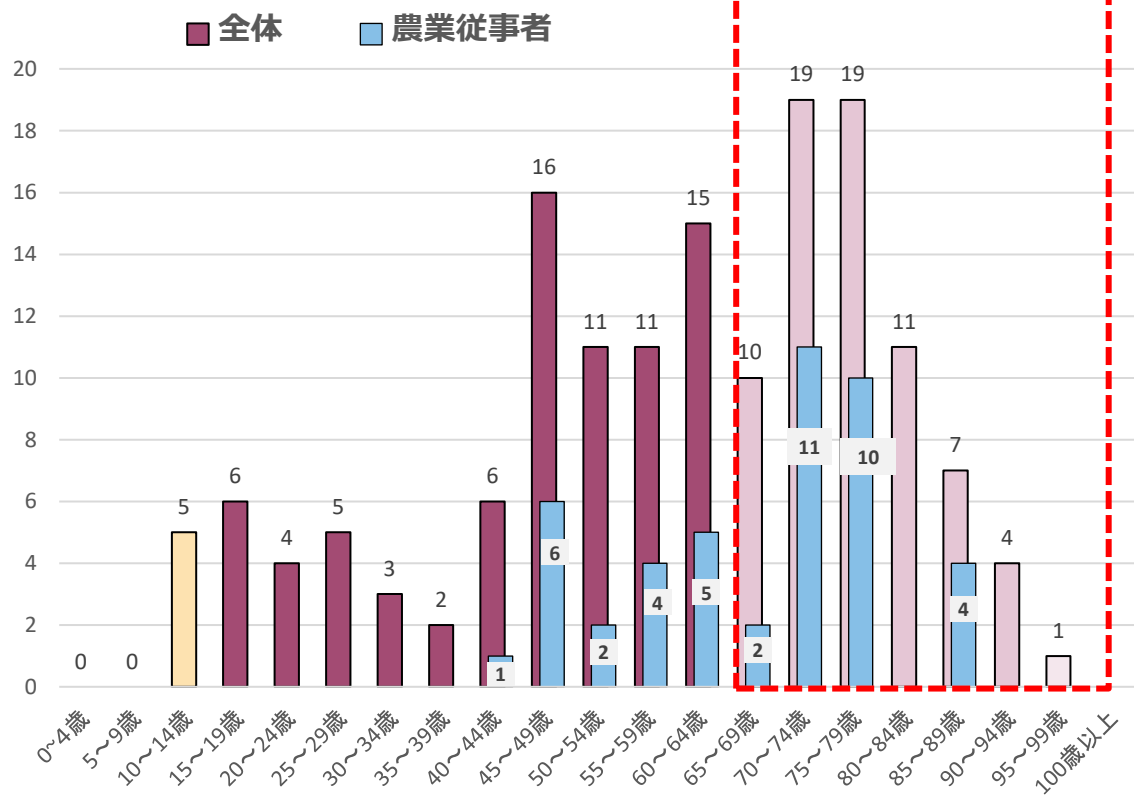
少子高齢化と人口減少

年齢別人口:板荷地区

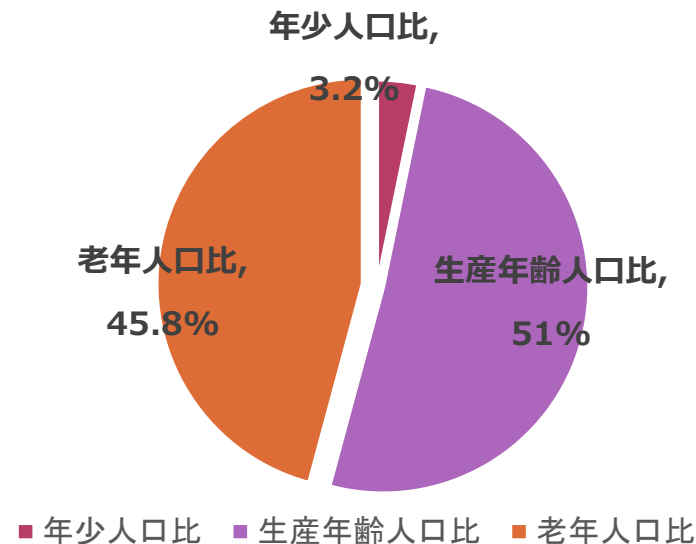


■ **高齢化率45.8%**
農業専従者の高齢化率60% (令和5年4月現在)

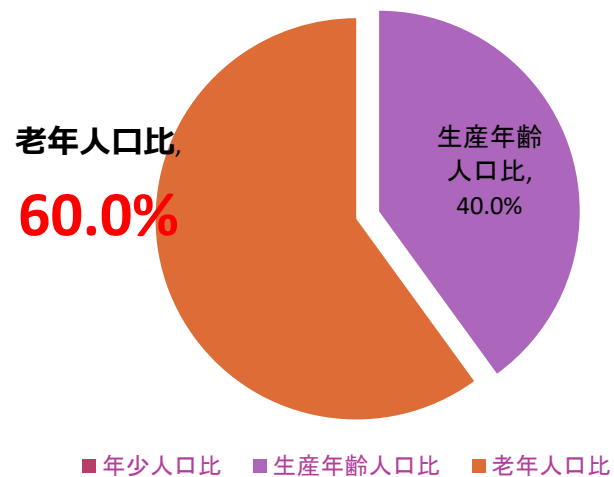
板荷畑地域住民の年齢別構成



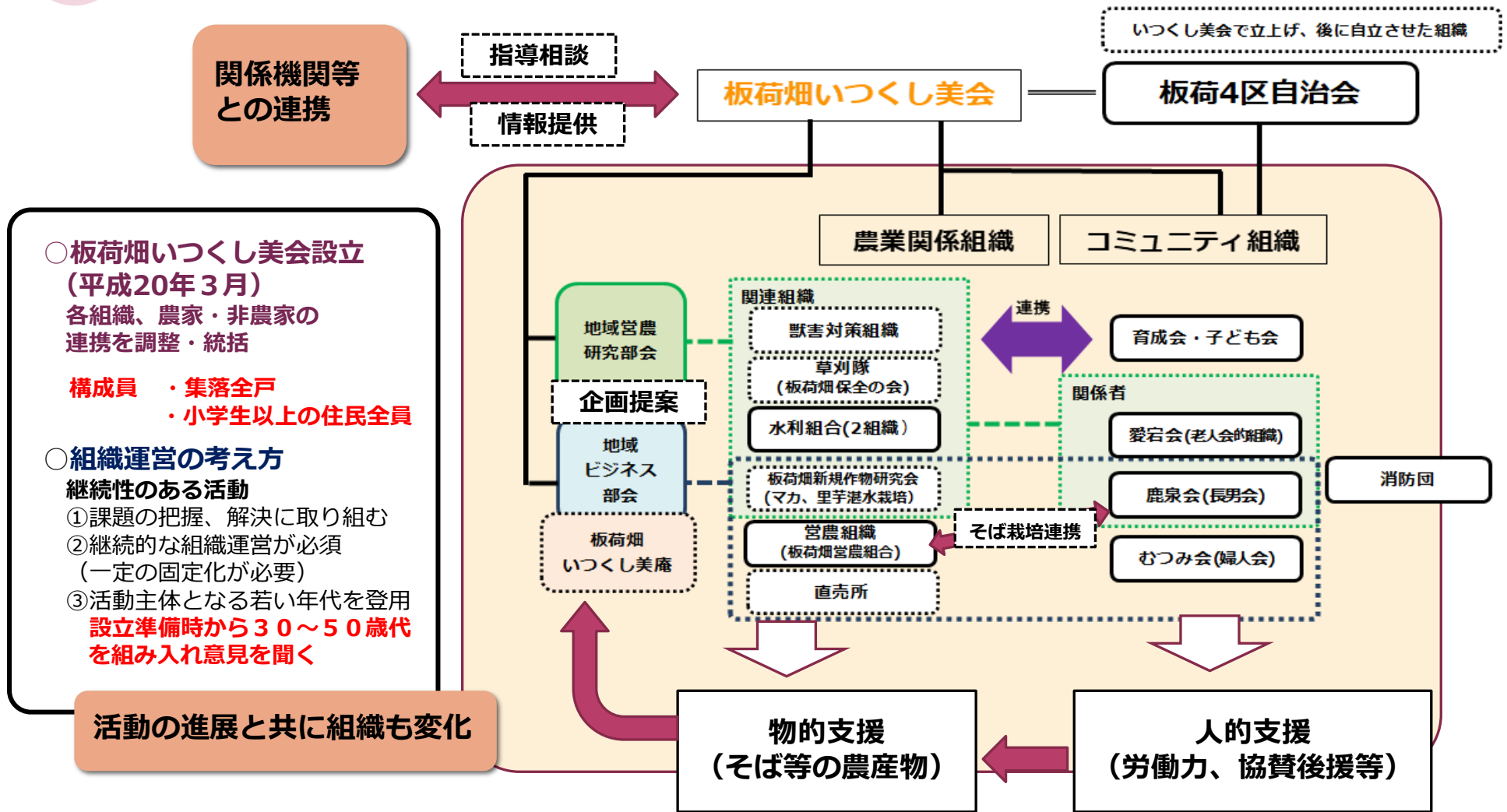
地域全体の年齢区分構成



農業従事者の年齢区分構成



いっくし美会の設立と地域連携体制



○板荷畑いっくし美会設立 (平成20年3月)

各組織、農家・非農家の連携を調整・統括

構成員 ・集落全戸
・小学生以上の住民全員

○組織運営の考え方

継続性のある活動

- ①課題の把握、解決に取り組む
- ②継続的な組織運営が必須 (一定の固定化が必要)
- ③活動主体となる若い年代を登用
設立準備時から30~50歳代を組み入れ意見を聞く

いっくし美会活動の取り組み

耕作放棄地発生予防



直売所開業



新規作物導入



地域づくり

そば店開業



そば祭り開催



生きもの調査



草刈り隊設置



施設保全、災害復旧



鳥獣害被害防止



集落営農への展開

耕作放棄地解消
・ 予防

高齢化
担い手不足等

課題解決に向けた
取り組み

地域課題解消

地域を“支え”次の世代に“つなぐ”活動

“互助の心” で地域をつなぐ

農業生産拡大や交流活動
の呼び水となる

施設の保全、災害復旧対策

野生鳥獣害防護柵設置・保全

耕作放棄地の解消・予防

“都市と農村” をつなぐ

農業6次化、地域の拠点
を核に交流事業

令和4年1月16日に地域のそば店
「板荷畑いつくし美庵」 開店

“農業と 若い後継者” をつなぐ

経済活性化、環境保全農業の継続に
向けた取組

○作物研究、地域営農検討



“世代・地域” をつなぐ

女性と高齢者の活躍の場、世代間を繋ぐ
取組になっている。

○無人直売所の設置・運営



“子どもと地域” をつなぐ

子どもの関心をふるさと
(板荷畑) に向ける取組

○親子参加の生きもの調査

広い年代の活躍 ~世代を“つなぐ” 無人直売所の開設~

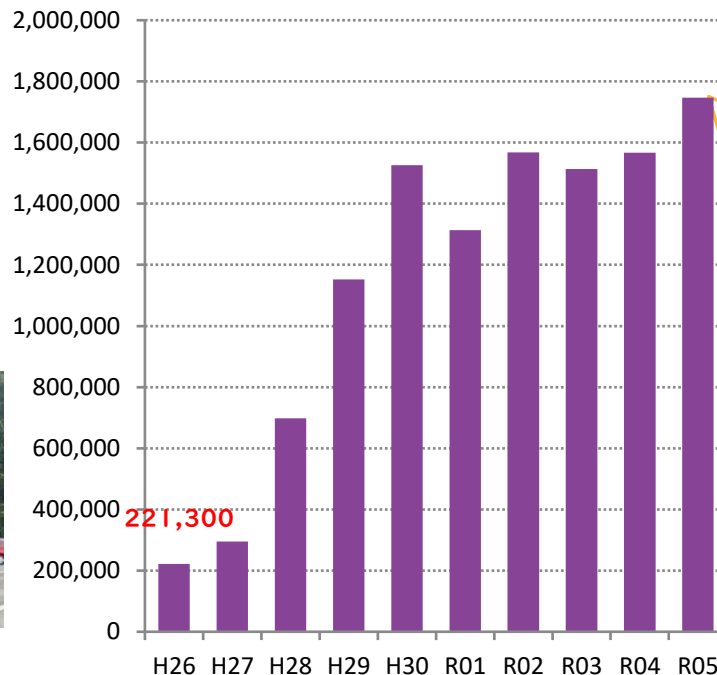
- 女性と高齢者の活躍の場、若い世代との交流により年代間を繋ぐ取り組みでもある。
- 地域のパイロットショップ、情報発信拠点として他の地域と板荷畑の交流を進める。



構成員：10名
 高齢者 8名
 女性 5名



無人直売所販売推移(H26~R5年度)



開設年から
 販売額
約8倍
 に増加

“世代・地域”
 をつなぐ

女性と高齢者の活躍の場であり、農家の世代間を繋ぐ取組になっている。

子どもや親を地域と“つなげる” ～「生きもの調査」から地域愛を～

● 田んぼや水路で生きもの調査を行い、子どもたちが地域の環境の学びと自然の中で遊んだ思い出により、郷土愛の醸成することや、保護者の地域活動への入り口としてとらえています。



生きもの調査の様子



生きものマップづくりの様子



生きもの調査まとめの様子

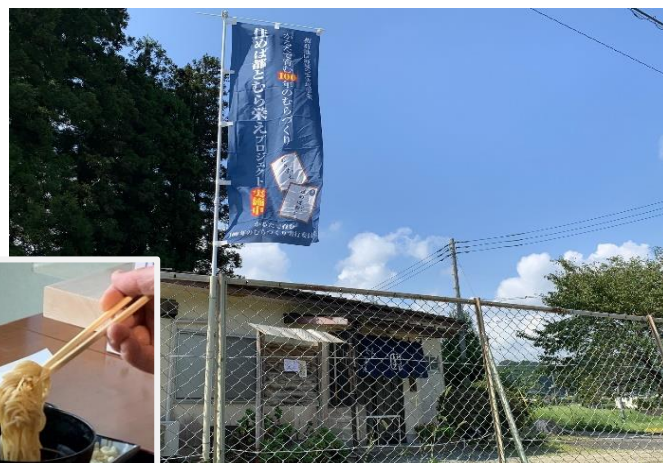


“子どもと地域”
をつなぐ

子どもの関心をふるさと
(板荷畑) に向ける取組

地域資源を生かし、都市とつなげる

●耕作放棄地の発生防止で始めたそば栽培を、地域交流「世界で一番小さな板荷畑そば祭り」に拡大。
令和4年に地域運営のそば店「板荷畑いつくし美庵」開店



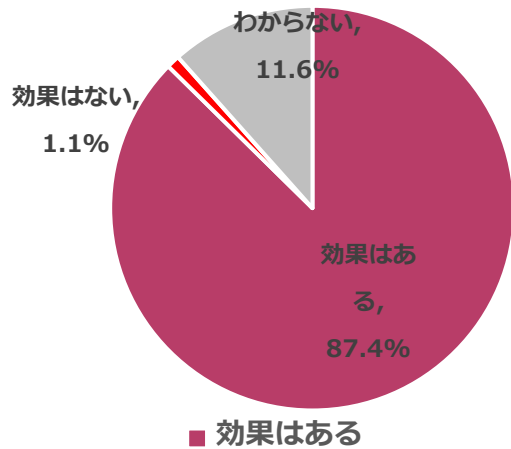
「世界で一番小さなそば祭り」から「地域のそば店」整備に向けた機運が高まり、令和4年1月16日に地域のそば店「板荷畑いつくし美庵」開店

“都市と農村”
をつなぐ

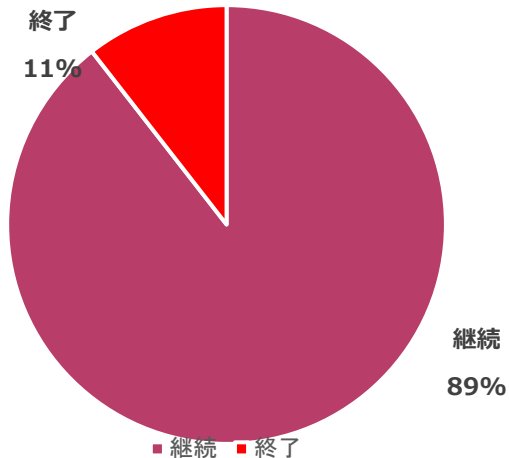
農業6次化、地域の拠点
を核に交流事業

アンケート調査から見た効果

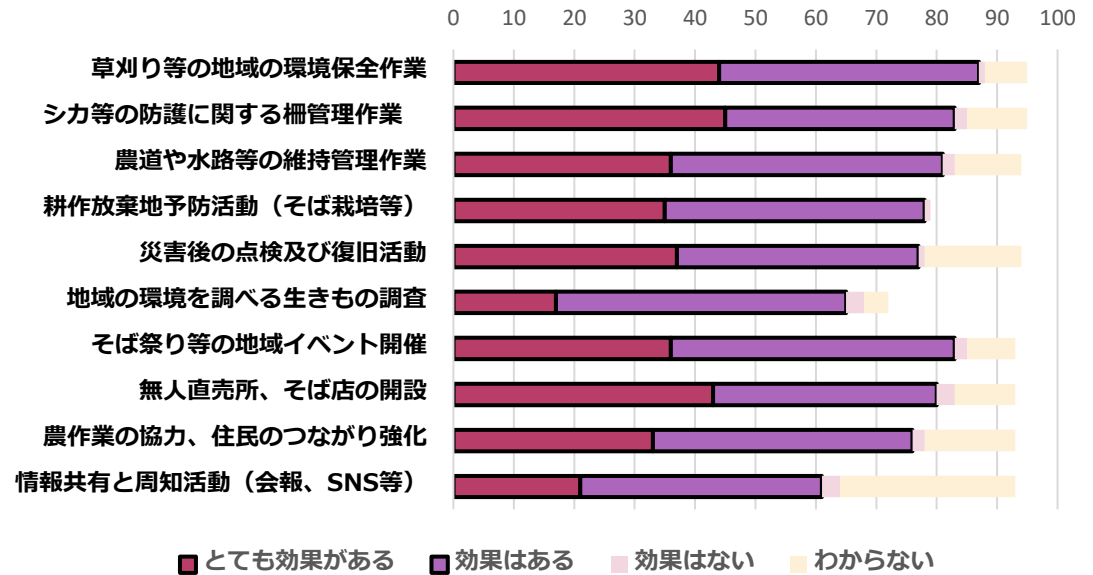
地域づくりへの効果



活動は継続すべきか



活動別の効果



・会創設以来、アンケート調査に取り組み、構成員からの評価やニーズを探り活動内容に反映させている。

第1回（H20）活動への関心、地域課題等の把握

第2回（H28）活動の効果、世代別農業への考え

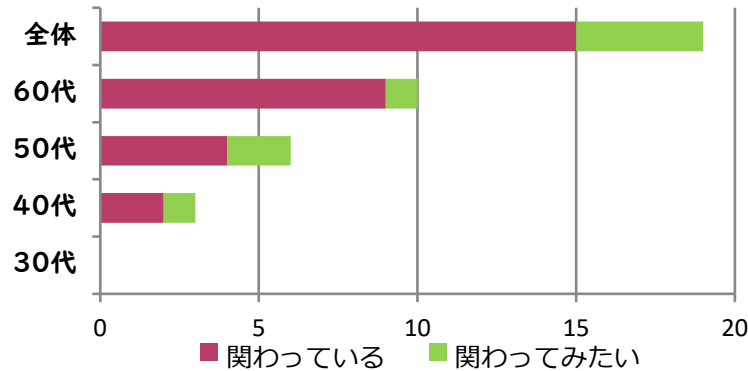
第3回（H30）活動効果、保有農機具の実態、農地保全、農業や地域づくりの考え（全構成員）

第4回（R 5）効果、活動の効果と継続の可否、集落の農業と農地の保全を主たる住民。（中学生以上）

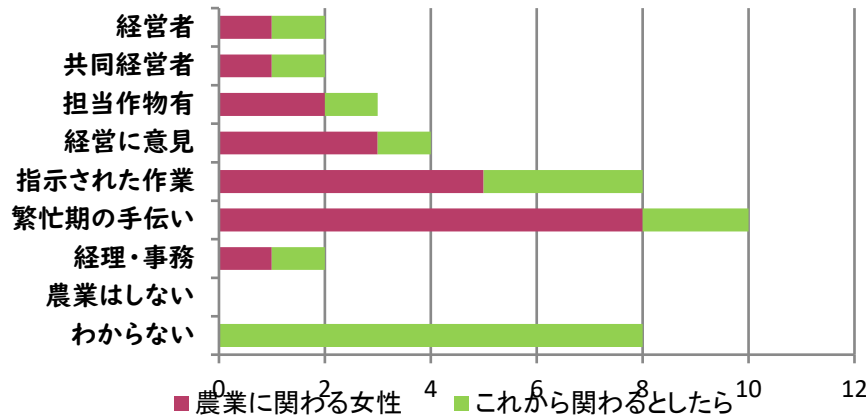
広がる“地域づくり”“人づくり”

- 地域住民（女性）の掘起しを実施（H30年度アンケート調査）
- 地域活動への参加を積み重ねた結果、女性の地域づくりへの関心が高まっている。
- 資源を活かした地域づくりへの意欲向上

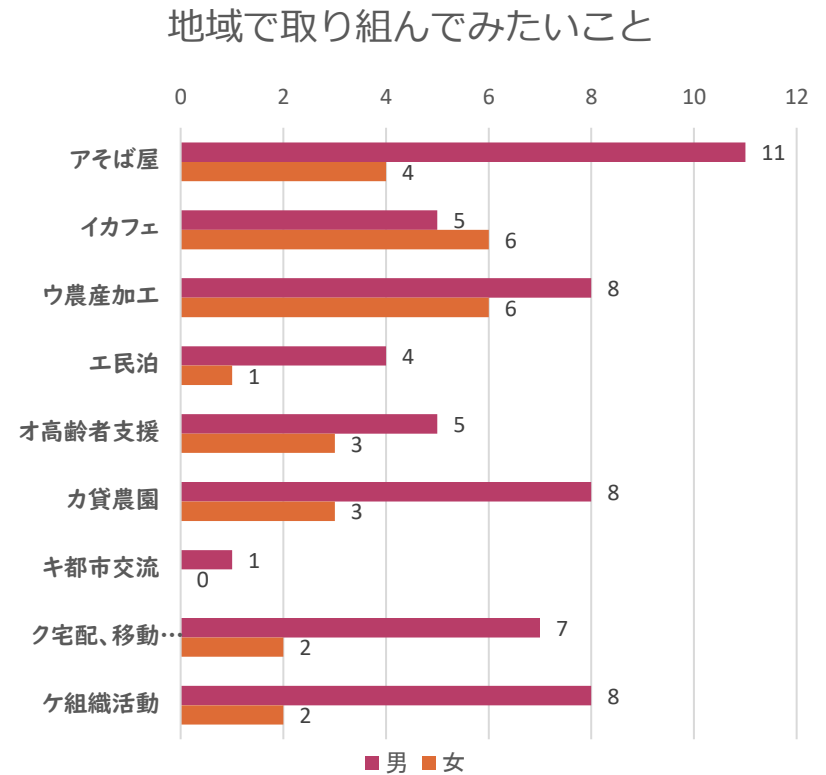
女性の農業への関わり



農業への関わり方

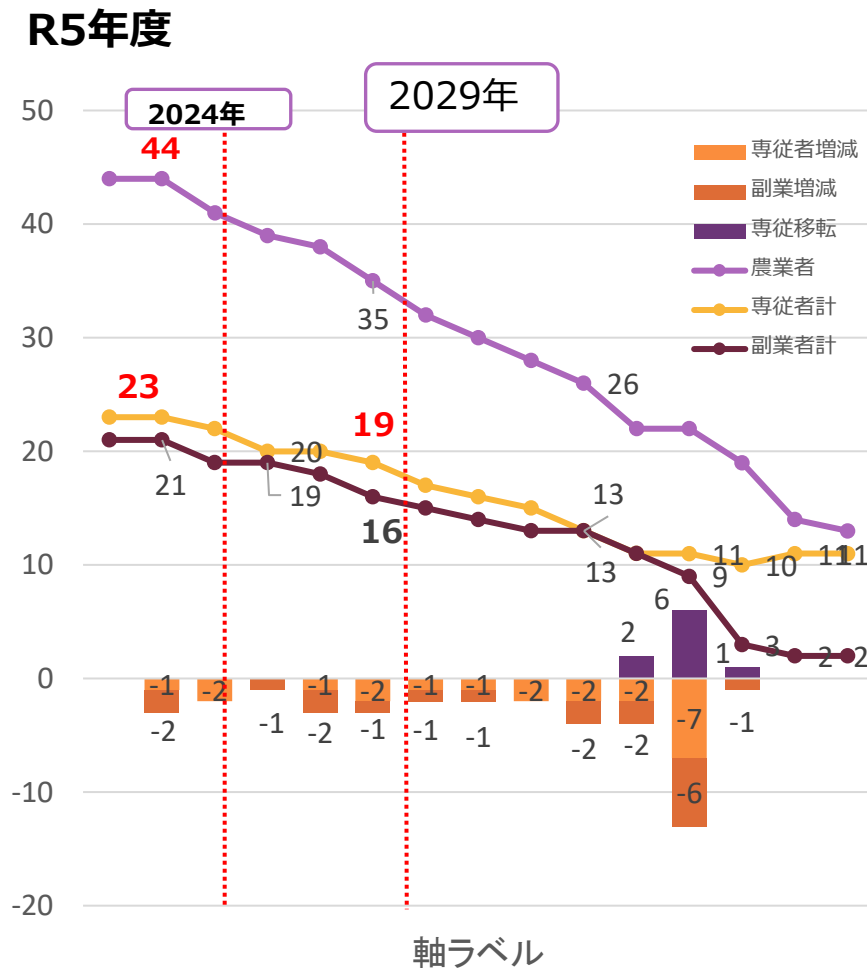
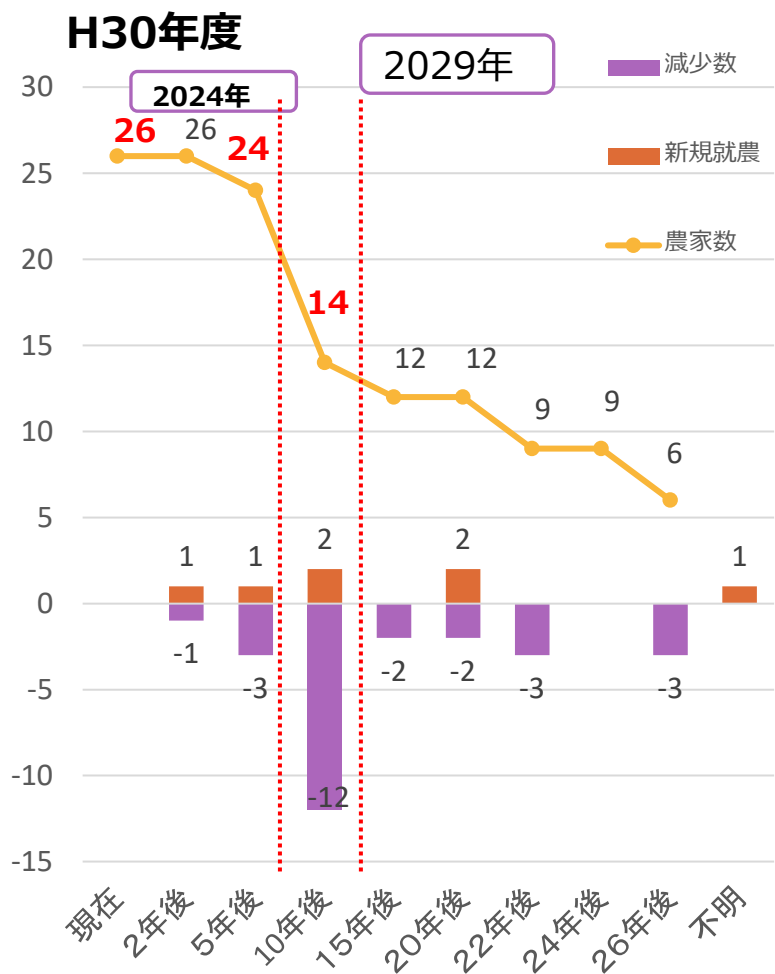


地域でやってみたいこと



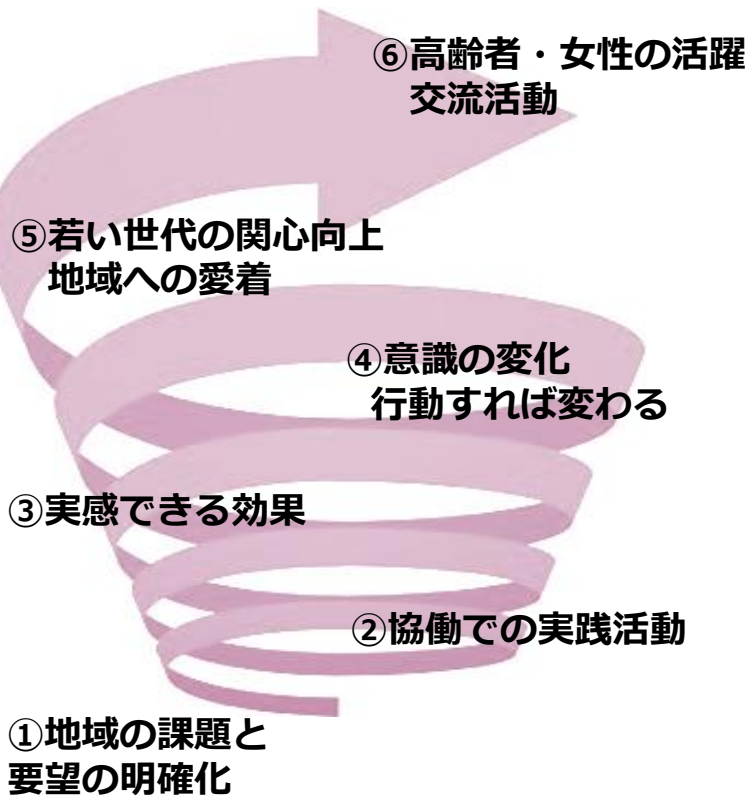
課題の整理と今後の対応

令和11年度（2029）には約半減すると見込んでいたが、R5年度調査では、専従者減少傾向が緩やかになったもの、引き続き対策を検討する。

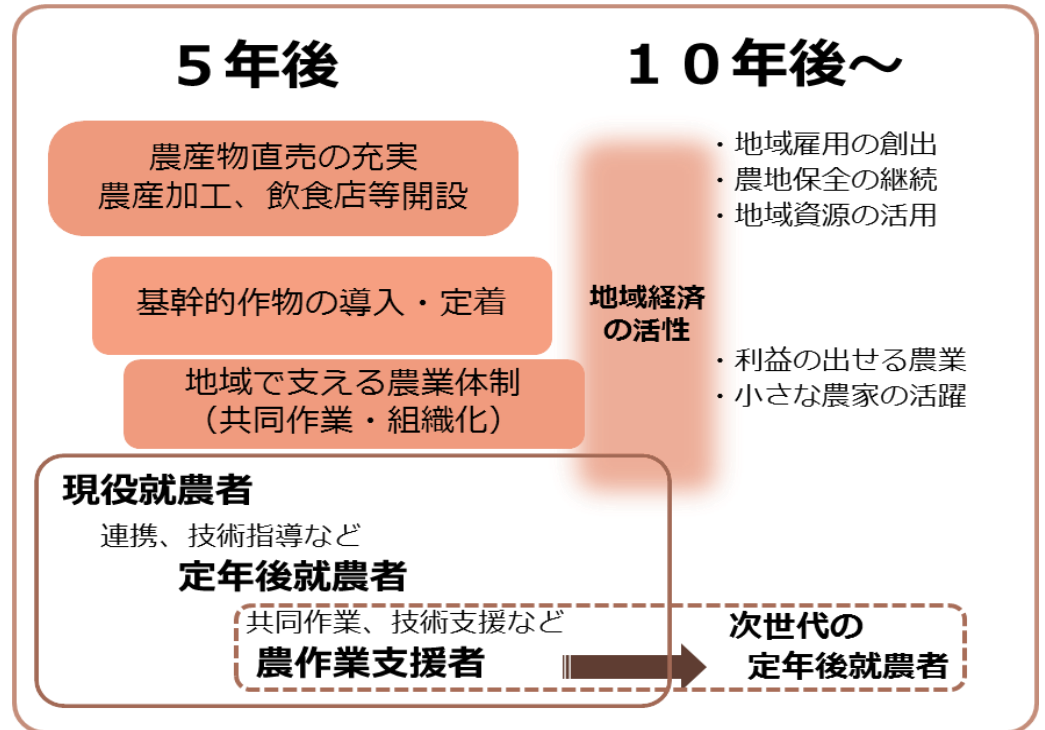


10年後の地域を考える

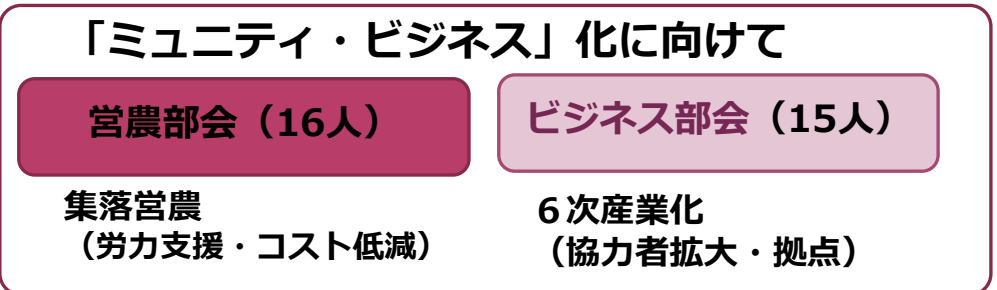
意識変化が好循環を生み出す
「負のスパイラル」からの反転



⑦ 農業を活用した暮らしたい地域へ



目標：稼げる地域（地域で法人化）



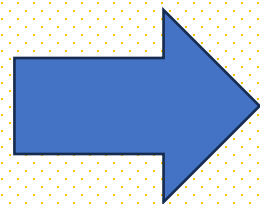
市貝町

市貝町の輝く女性

市貝町農村環境保全協議会

市貝町農村環境保全協議会

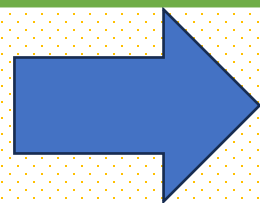
令和3年度
(令和3年4月)
広域化開始



18地区

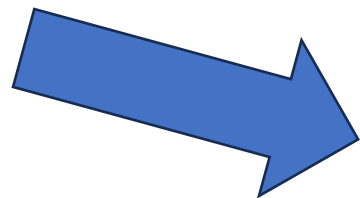
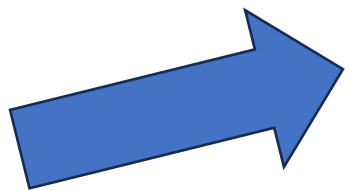
令和4年度
(令和4年4月)

2地区追加



20地区

広域化



**交付金は
協議会で管理**

規則を統一

地区に合った活動

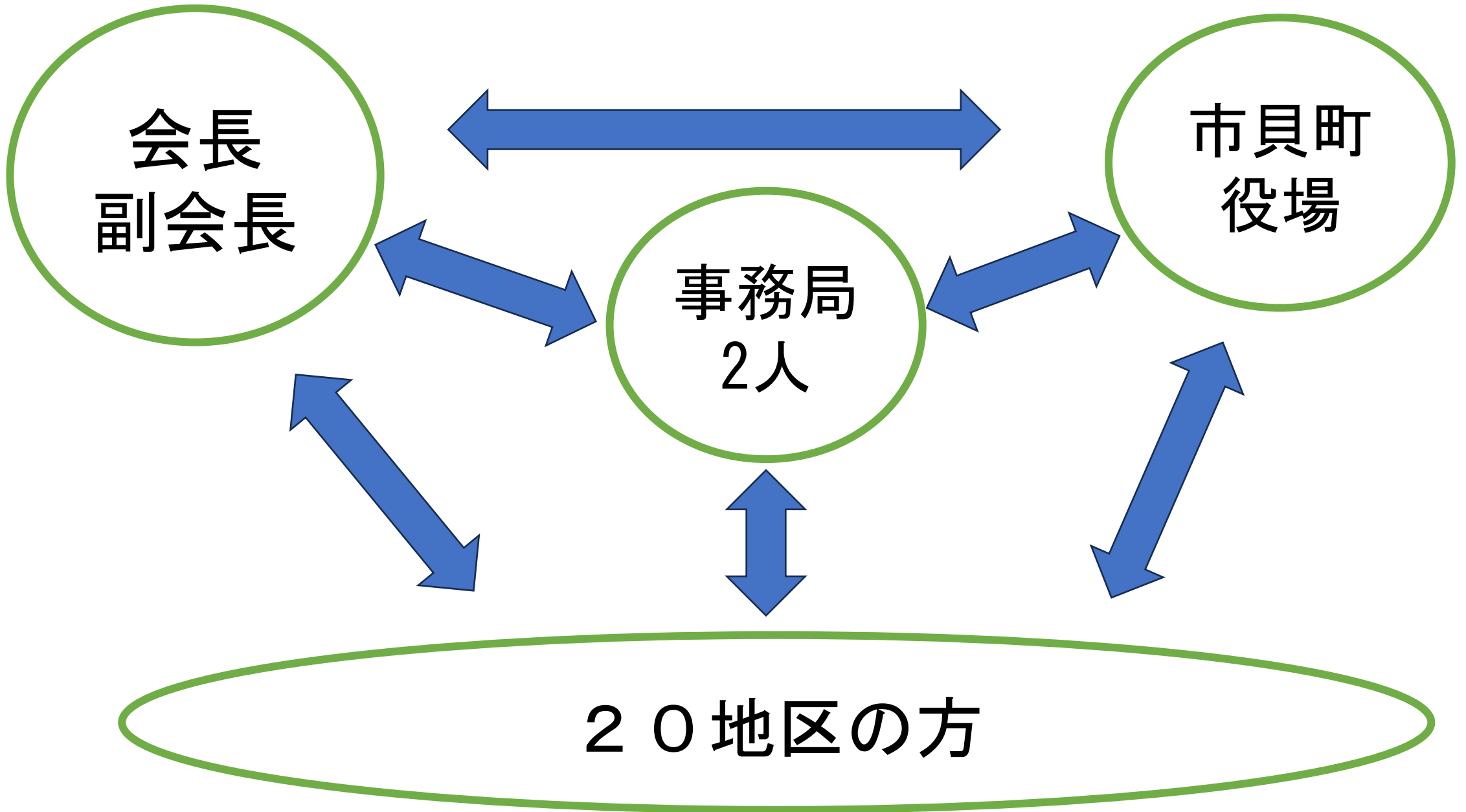
広域化とは！？

各地区

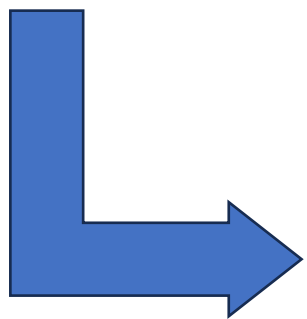


各地区

助け合う・協力し合う



20地区
構成員 932人



活躍している女性構成員
16地区
女性構成員 78人

全体の
1割

草刈機を使用している方

16地区 27人

27歳～80代



27歳 A子さん

みなさんと楽しく
草刈りしています！

広域化になってから
草刈り始めました！

草刈り歴
3年目です！

みなさんが頑張っているのを見て
私も頑張らなくちゃ！

自治会長から推薦されて始めました！



トラクターモアを運転している方

1地区 1人



70代 B子さん

トラクターモア歴
約20年です！

広域化1年目から
参加しています！

景観を綺麗にしていきたいから
みなさんと協力して草刈り頑張っ
ています！

主人が亡くなってからも
一人で参加しています！



草刈機での草刈り 風景



2023.05.28 09:29

草刈りを引き継がれて
いる方が多い土地



2023.06.04 07:25

草刈機での草刈り 風景



2023.05.28 09:18

若い時から草刈機を
使っている



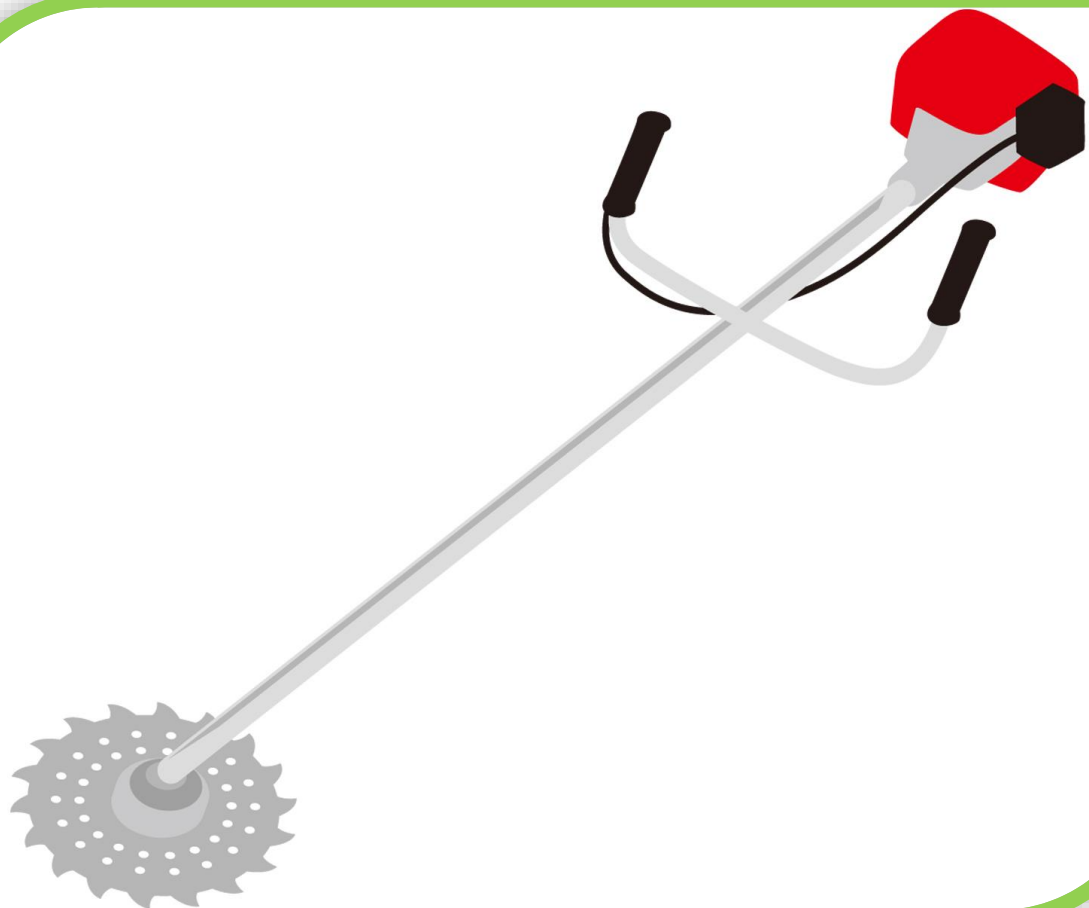
2023.11.12 08:36

トラクターモアでの 草刈り風景



景観をきれいにしたい！
という熱い思い

バッテリー式草刈機



このとりクラブ (鴻之宿の環境を守る会)

- ①花植え (植栽～管理)
- ②草刈り・除草
- ③ゴミ拾い



こうのとりにクラブ



完成した花壇



続谷アクトィブシニアの会 (貝ヶ丘郷づくりの会)

①花植え
(植栽～管理)

②除草

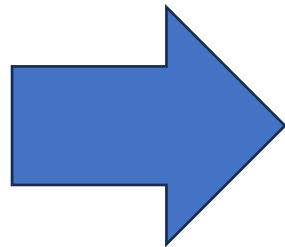


続谷アクティブシニアの会



市貝町農村環境保全協議会の 女性の活躍とは？

人をまとめる
(役員など)



細かいところに
目が行き届く
女性

二世帯・三世帯が多い土地

子供達の自慢



元気なおじいちゃん・おばあちゃん

小学校と連携した 生き物調査



赤羽小学校



小貝小学校



市貝小学校

2023/06/15 09:00:18

**幅広い分野で
女性構成員の方も活躍できる環境を！**

